

CORRUPTIO
by
Jin Mayama

コラプティオ 真山仁

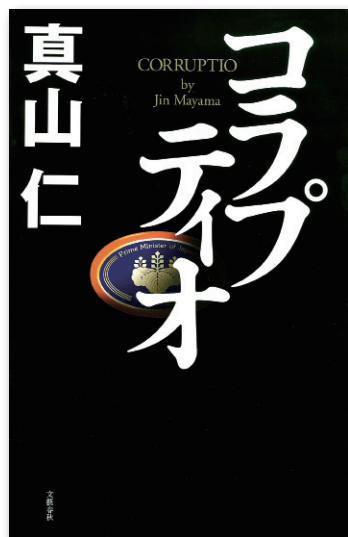


『ハゲタカ』
著者、覚悟の
衝撃作

今こそ、日本の 未来を問い直す。

震災後現れた“有言実行”のカリスマ総理。
禁断の復興策はこの国をどこへ導くのか。
原子力と政治の間に迫る白熱のドラマ誕生！

〔コラプティオ〕
ラテン語で「汚職・腐敗」の意



定価(本体1714円+税)
四六判上製 536頁

著者の言葉

『コラプティオ』は、私が初めて政治の世界に挑んだ作品です。社会に蔓延する不安を見るにつけ、より積極的に政治にコミットするべきだと思い、執筆を始めました。そして発生した大震災とその後の大混乱——。文明社会の危機、政治不信、さらには希望の見えない未来への絶望感が波状攻撃のように日本を襲い、私たちは途方に暮れてしまいました。しかし、ここで立ち止まってはなりません。嘆いていても、何も始まらない。私たち一人一人が目の前の苦難を見据え、立ち向かう勇気を持って行動することが、未来を希望に変える唯一の方法なのです。

誰がやっても政治は変わらない。そんな言葉を二度と口にしないために、私はこの物語を届けます。

CORRUPTIO
by
Jin Mayama

コ
ロ
プ
テ
ィ
オ

「私には、希望がある」
国民の圧倒的支援を受けるカリスマ総理・宮藤隼人。

「政治とは、約束」
宮藤を支える若き内閣調査官・白石望。

「言葉とは、力」
巨大権力に食らいつく新聞記者・神林裕太。

震災後、宮藤が打ち出した禁断の経済復興策をめぐる
火花を散らす男たちが辿り着いた選択とは？
『マグマ』で地熱発電に、『ベイジン』で原発メルトダウンに迫った
真山仁が描く白熱の政治ドラマが誕生しました。

神林「自らが書いた記事で、官邸が揺らぐ。」
宮藤「努力すれば、希望が叶う社会を創り上げる。これぞジャーナリズムの醍醐味じゃないか」
白石「総理には闇を寄せつけない光源であってほしいと思います」

ストーリー

物語の舞台は、東日本大震災から数年が経過した我が国・日本。震災、原発事故の後遺症で経済的な苦境が続いていたが、ある人物が、国民にとっての“希望の光”となっていた。

内閣総理大臣・宮藤隼人である。

有言実行を旨とする気鋭の政治家は、その清新なキャラクターと果敢なる行動で瞬く間に総理の座に上り詰め、国民の七割の支持を受けてこの国を牽引する唯一無二の存在となっていた。内閣調査官・白石望は、大学時代に聞いた宮藤の演説に心を奪われて以降、異能の首席秘書官・田坂義崇と共に宮藤をサポートしてきた。

一方、白石の中学時代の同級生・神林裕太は、その同じ演説で宮藤の「言葉の力」に触れてジャーナリズムを志し、大手新聞社・曙光新聞の記者となる。

ある日、神林はスクープの端緒を掴む。

総合電機メーカー・サクラ電機が国有化される、というのだ。

そして、このスキームの裏側では、白石が震災前に提案し、宮藤に却下されたはずの産業復興策が胎動していた。「アトムプラン」——原子力産業を、経済復興の要と位置づけるという、禁断の一手である。そのことを知った神林は先輩の名物記者・東條謙介と共に、政府・企業を相手のスクープ取材に身を投じていく……。

精緻な取材に基づき永田町の世界を完全再現すると共に、メディアと権力とのギリギリのせめぎ合いを活写しながら、物語は政情不安を抱えるアフリカの小国、ウエステリアへ。

男たちの人間ドラマはどこまでも白熱し、誰も予想しえなかった結末を迎える。

この国の未来は、誰が作るのか？

震災後、日本の小説家が「原子力政策」「この国の政治」について真っ向勝負を挑んだのはじめての、そして最高の作品が完成しました。

刊行の経緯

本書は『別冊文藝春秋』2010年3月号から2011年5月号まで連載された同名小説を改稿したものです。連載当初から「原発」と「政治」が作品のテーマとなっておりましたが、最終回の締切り3日前に東日本大震災、そして福島第一原発の事故が発生しました。本書はフィクションですが、物語の性質上、震災と原発事故を踏まえて作品を発表すべきと考え、加筆修正の上での刊行となりました。被災した皆様に対し、心からのお見舞いを申し上げますと共に、1日も早い復興と心の平穏が訪れることをお祈りしております。

著者プロフィール

1962年、大阪府生まれ。

同志社大学法学部政治学科卒業。新聞記者、フリーライターを経て、2004年、企業買収をめぐる熱き人間ドラマ『ハゲタカ』でデビュー。2007年に『ハゲタカ』『ハゲタカII（「パイアウト」改題）』を原作とするNHK土曜ドラマ「ハゲタカ」が放映され、大きな反響を呼ぶ。他の著書に『虚像の砦』『マグマ』『ベイジン』『プライド』がある。

公式ホームページ <http://www.mayamajin.jp/>

取材・著者インタビュー・出演などの問い合わせ先

株式会社文藝春秋 〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3-23

文藝局第二文藝部 瀬尾泰信（せおやすのぶ）TEL：03-3288-6149 / FAX：03-3239-4513 / MAIL：seo@bunshun.co.jp

出版メディア広報室 阿部雄輔（あべゆうすけ）MAIL：y-abe@bunshun.co.jp

真山仁事務所

担当：柳田京子 mail：yanabo@h4.dion.ne.jp